

イヌとネコ

動画リンク: <https://youtu.be/xmkB8Gcgduk>

今回は「イヌとネコ」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字にふりがなはありません。
学習にお役立てください。

■イヌとネコの歴史～祖先は同じ

イヌとネコの歴史をさかのぼると、驚くことに、もともとは同じような祖先から分かれた動物だということがわかります。およそ3,300万年以上前、イヌとネコの祖先は一つのグループとして生きていました。しかし、時間がたつにつれて、それぞれのグループは違う環境で生きるようになりました。その結果、イヌとネコという2つの異なる動物に進化しました。

「進化」というのは、長い時間をかけて少しずつ変わっていくことを意味します。たとえば、イヌは広い草原や広くて何も無い場所で生きるために体が大きくなり、長い距離を走れるようになりました。一方、ネコは森の中で小さな動物をつかまえるために、体が小さくてすばやく動けるようになりました。

また、イヌは仲間や家族で生活する習性があるため、仲間同士で協力し合うことが得意です。これが、現在のイヌが人間に対しても友好的で忠実な性格を持つ理由の一つです。反対に、ネコは単独で生活することが多く、他の動物や人間との距離を保ちたがる性格があります。このようにして、イヌとネコは同じ祖先を持ちながらも、それぞれの環境に適応し、今のような違った姿と性格を持つようになりました。

■イヌとネコの生活環境と役割の違い

イヌとネコは、見た目や性格が違うだけではありません。イヌとネコは、住んでいる場所や生活の仕方も大きく違います。まず、イヌとネコがそれぞれどんな場所で生活していたかを考えてみましょう。

イヌは、広い平原や草原のような広くて何も無い場所で生きてきました。「平原」というのは、木が少なく、広い場所のことです。イヌは広い場所で獲物を追いかけるために、長い時間走ることが得意です。たとえば、オオカミのように、たくさんの仲間と一緒に獲物を追いかけて仕留めるために、長い時間たくさん走ることができる力が必要でした。これを「持久力」といいます。

一方で、ネコは森やジャングルのような木がたくさんある場所で生活していました。ネコの体は、木に登ったり、せまい場所をすばやく通り抜けたりするのが得意です。ネコは、平面だけでなく、上下にも動くことができます。つまり、ネコは木の上にもかんたんに登れるように進化してきました。

イヌは広い場所で長い距離を走り回るため、体が大きく、持久力があります。逆に、ネコは素早く獲物に近づき、一瞬で仕留めるために、すぐに速く動ける能力が発達しました。これを「瞬発力」といいます。

このように、イヌとネコはそれぞれの住んでいた場所や生活スタイルに合わせて、体のつくりや能力が変わっていきました。今でも、イヌは広い場所で遊ぶのが好きで、ネコは高いところやせまい場所が好きなのは、このような歴史が関係しているからです。

■イヌとネコの狩りの方法

イヌとネコは、狩りの方法にも大きな違いがあります。まず、イヌがどのように狩りをするかを考えてみましょう。イヌは広い平原で生活していたため、獲物を見つけると、持久力を活かして長い距離を走りながら追いかけます。イヌは口を使って獲物をつかまえるのが得意です。イヌは仲間たちと一緒に生活することが多かったため、仲間と協力して獲物を追いかけてつかまえることも得意でした。

一方、ネコは狩りの仕方がまったく違います。ネコは森やジャングルで生活していたため、獲物に少しずつ近づき、一瞬で仕留めることが大事でした。この「仕留める」というのは、狩りを成功させて獲物をつかまえることを意味します。ネコはとてもしずかに歩くことができ、獲物に気づかれなないようにするのがとても上手です。そして、十分に近づいたら、前足ですばやく獲物をつかまえます。

イヌは口を使って獲物をつかまえるのに対して、ネコは前足を使います。ネコの前足はとても敏感で、爪を出したり引っ込めたりすることができ、獲物を逃さないようにしています。また、ネコは短い時間で一気に力を出す「瞬発力」があります。これが、ネコがすばやく獲物に飛びかかることができる理由です。

このように、イヌとネコはそれぞれの環境に合わせて、違った狩りの方法を身につけました。イヌは長い時間をかけて獲物を追いかけるのに対して、ネコはすばやくしずかに獲物をつかまえるのが得意なのです。これが、イヌとネコが持つそれぞれの狩りの特徴です。

■イヌとネコの鳴き声の違い

イヌとネコの鳴き声には、大きな違いがあります。まず、イヌの鳴き声について考えてみましょう。イヌは「ワンワン」と鳴きますが、この鳴き声にはいろいろな意味があります。たとえば、イヌは何か気づいたときや、他のイヌとコミュニケーションをとるために鳴きます。イヌは多くの仲間たちと生活していたため、仲間同士で連絡を取り合うことが大切でした。そのため、イヌの鳴き声は「ここにいるよ」や「危険が迫っているよ」など、さまざまなメッセージを伝えるために使われます。一方、ネコは「ニャーニャー」と鳴きます。ネコの鳴き声もいろいろな意味がありますが、イヌとは少し違います。ネコは一匹で生活することが多かったため、イヌほど鳴き声でコミュニケーションをとることはありませんでした。しかし、ネコは人間と一緒に暮らす中で、鳴き声を使って自分の気持ちを伝えるようになりました。たとえば、お腹が空いたときや、何かをお願いするときに鳴くことが多いです。

イヌの鳴き声は大きく、遠くまで届くのに対して、ネコの鳴き声はイヌよりしずかで近くの人や動物に向けて鳴きます。また、イヌはよく吠えることで知られていますが、これは先祖のオオカミが仲間間に危険を知らせたり、集団で行動するための名残です。「名残」というのは、昔から続いている習慣や特徴のことです。

一方で、ネコはあまり鳴かないことが多いですが、飼い主との関係が深くなるとよく鳴くようになることもあります。ネコが「ゴロゴロ」とノドを鳴らす音を聞いたことがあるかもしれません。これはネコが安心してるときや、飼い主に甘えているときに出す音です。

このように、イヌとネコの鳴き声にはそれぞれの性格や生活習慣に合わせた違いがあり、それが彼らのコミュニケーションの方法にも反映されています。鳴き声の違いを理解すると、イヌやネコが何を伝えようとしているのかが、もっとわかるようになるでしょう。

■イヌとネコの性格と行動心理の違い

イヌとネコの性格や行動にも大きな違いがあります。まず、イヌの性格について考えてみましょう。イヌはとても他の動物や人間と仲良くしたいという気持ちが強い動物です。そのため、いつも人と一緒にいたがります。イヌは人間や自分の家族と過ごすことが大好きで、一緒に遊んだり、散歩に行ったりすることを乐しみます。また、イヌは飼い主に対してとても忠実で、命令をしっかり守ることが得意です。

一方、ネコの性格は少し違います。ネコはどちらかというとあまり他の動物や人間と関わりたくないと思っている動物です。つまり、ネコは自分だけで過ごすのを好む動物です。ネコは自分の時間を大切に、しずかな場所でくつろぐことが好きです。そのため、ネコはイヌほど人間にべったりではなく、少し距離を保ちながら生活することが多いです。

また、イヌとネコは、感情や行動にも違いがあります。イヌは感情を表に出すことが多いです。嬉しいときはしっぽを振り、悲しいときや怖いときは鳴いたり隠れたりします。このように、イヌは自分の気持ちをわかりやすく表現するのが得意です。

ネコは逆に、感情をあまり表に出しません。ネコが何を考えているのかを理解するのは、少し難しいかもしれません。ネコはしずかに歩き回り、自分の好きな場所でくつろぐことが多いので、イヌに比べて感情がわかりにくいと感ずることがあります。

さらに、イヌとネコの社会的な行動にも違いがあります。イヌは自分以外の仲間たちと生活する動物なので、リーダーを決めたり、仲間の中での順位を大切にします。「順位」というのは、誰がリーダーで、誰がその次に強いかを決めることです。そのため、イヌは飼い主をリーダーとして尊敬し、指示に従うことが自然にできる動物です。

一方で、ネコは順位づけをあまり気にしません。ネコは自分が一番好きなことを大切にするため、飼い主と対等な関係を保ちたがります。対等というの、誰かが上で誰かが下というのではなく、お互いが同じ立場にいることを意味します。ネコと一緒に暮らしたことがある人ならわかると思いますが、対等ではなく、ネコはネコのほうが人間よりも立場が上だと思っている場合もあります。このように、イヌとネコはそれぞれの性格や感情表現、行動が異なり、その違いを理解することで、より良い関係を築くことができるのです。

■イヌとネコの生活習慣の違い

イヌとネコの生活習慣には、いくつかの違いがあります。まず、イヌとネコのトイレの習慣について考えてみましょう。イヌは決まった場所でトイレをするという習慣がありません。散歩に行ったときや、庭などで自由にトイレをすることが多いです。そのため、飼い主はイヌを散歩に連れて行くことで、イヌがトイレをする場所を見つける手助けをします。

一方、ネコはとてもきれい好きな動物で、決まった場所でトイレをすることが習慣になっています。ネコを飼っている人は、「ネコ用トイレ」という特別な箱に砂を入れておきます。ちなみに、日本では「ネコ砂」と呼ばれています。ネコはその砂の中にうんちやおしっこをして、自分で砂をかけて隠します。このように、ネコは自分でトイレの場所を決めて、その場所をきちんと使います。これはネコがきれい好きで、他の動物に自分のニオイを隠すための習性です。

また、イヌとネコのニオイにも違いがあります。イヌは体から独特のニオイがすることがあります。特に、外で遊んだ後や雨に濡れたときは、イヌの体が少し臭うことがあります。「臭う」というのは、強いニオイがすることです。そのため、イヌを飼っている人は、定期的にイヌを洗ったり、ブラッシングをして清潔を保つことが必要です。

一方で、ネコはあまり臭わない動物です。これは、ネコが自分で体をなめてきれいにする習性を持っているからです。ネコは1日のうちの多くの時間を、自分の体をなめて毛づくろいに使います。「毛づくろい」というのは、自分の毛をなめてきれいに整えることです。そのため、ネコはイヌほどきれいに洗う必要がありません。

このように、イヌとネコの生活習慣には、それぞれの特徴があります。イヌは外で自由にトイレをし、体が少し臭うことがありますが、ネコはきれい好きで、決まった場所でトイレをし、自分できれいにしているため、あまり臭わないという違いがあるのです。この違いを知っておくと、イヌやネコと一緒に暮らすときに、より快適に過ごすことができます。

■イヌとネコの飼育費用の違い

イヌとネコを飼うときにかかるお金にも、違いがあります。まず、イヌを飼うときに必要なお金について考えてみましょう。イヌは、食べる量が多く、体が大きいことが多いので、毎月のエサ代がたかさんかかることが多いです。また、イヌは散歩に行くためのリードや首輪、寒いときには洋服な

ど、いろいろなグッズを用意する必要があります。さらに、イヌは定期的に獣医さんに診てもらうことが大切です。これは、「予防接種」という病気を防ぐための注射や、健康チェックをしてもらうためです。これらのお金が積み重なると、イヌを飼うためにはかなりのお金がかかることがわかります。ちなみに、日本ではイヌを飼うと1年間で、小型犬は12~24万円、中型犬で18~30万円、大型犬で18~36万円必要だといわれています。仮に1年間で20万円、イヌが15年間生きた場合、300万円くらいのお金がかかります。

一方で、ネコを飼うときにかかるお金は、イヌほど多くありません。ネコはイヌよりも小さいため、食べる量も少なく、エサ代があまりかかりません。また、ネコは家の中で過ごすことが多いので、散歩に行くためのリードや首輪なども必要ありません。そのため、ネコを飼うときのお金は、イヌよりも少なくなります。

ただし、ネコを飼うときにも、いくつかの費用がかかります。例えば、ネコ用のトイレや砂、爪を研ぐための道具などです。また、ネコも定期的に獣医さんに診てもらうことが大切です。ネコは体が小さい分、病気になったときに早く治療が必要なことが多いので、健康管理をしっかりする必要があります。ネコを飼った場合、1年間で12万円くらいのお金が必要になるといわれています。ネコの寿命を15年間とした場合、180万円くらいになります。

このように、イヌとネコを飼うためのお金は違いがあります。一般的に言うと、イヌを飼うために必要になるお金は、ネコを飼うときのお金の約2倍くらいかかることが多いです。「約」というのは、おおよその目安を示す言葉です。どちらを飼うにしても、その動物が幸せに暮らせるように、しっかりとした準備とお金の計画が必要です。

イヌとネコ、それぞれの特徴やお金のことをよく考えて、自分に合ったペットを選ぶことが大切です。どちらを飼っても、愛情を持って接すれば、素晴らしい友達になってくれるでしょう。

あなたはイヌ派ですか？

それとも、ネコ派ですか？

"イヌとネコ"はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

